

●評価書

都市再生緊急整備地域名 阿倍野地域

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	【大阪都市計画区域マスタープラン】(平成25年策定) ○市街地開発事業に関する方針 ・都市拠点の形成など広域的なにぎわいづくり ・都市再生緊急整備地域の整備 ・臨海部におけるまちづくりの推進 ○都市再生に関する方針 ・都市再生特別地区の活用 ・特定都市再生緊急整備地域の活用 【ランドデザイン・大阪】(平成24年策定) ○なんば・天王寺・阿倍野エリア ・世界(関空)と直結、大阪らしい食の文化とにぎわいを活かす	これまでに、都市再生特別地区決定と民間都市再生事業計画認定を受けた百貨店、事務所、ホテル、美術館等の整備が平成26年3月に完了したほか、予定されていた3地区の民間による都市開発事業が完了し、商業、業務、住宅等が整備されている。 R4年度以降の都市再生緊急整備地域の区域拡大を目指し、地域内及び隣接地において、民間都市開発事業の事業化を予定。 公共施設整備としては、道路、歩道橋、歩行者空間等の整備が完了し、現在は、道路拡幅・電線類地中化が令和3年3月完了予定で事業中である。	・人口(地域内) 2,552人(H17)→3,324人(R1) :約30%増(市全体:約4%増) ・世帯数(地域内) 1,164世帯(H17)→1,624世帯(R1) :約40%増(市全体:約25%増) ・地価(地域内) 222.0万円/㎡(H27)→310.0万円/㎡(H31) :約40%上昇(区平均:約32%上昇) ・観光客入込数 H26に1施設(延べ床面積32,000㎡、総客室数360室)が開業。 ・商業施設 H20~H25に計3施設(総延べ床面積553,882㎡)が開業。	

項目別評価	「大阪都市計画区域マスタープラン」において、都市再生緊急整備地域の整備が位置づけられている。 「ランドデザイン・大阪」において、なんば・天王寺・あべのエリアとして位置づけられている。	予定されていた都市開発事業が完了し、公共施設整備事業も進捗している。R4年度以降の都市再生緊急整備地域の区域拡大を目指し、地域内及び隣接地において、民間都市開発事業の事業化を予定。	人口、世帯数、地価等において、都市再生の効果の発現が認められる。	
総合評価	都市開発事業・公共施設整備事業が進捗し、整備の目標の実現が図られつつある。 R4年度以降の都市再生緊急整備地域の区域拡大を目指し、地域内および隣接地において民間都市開発事業の事業化を予定。			⇒ 地域指定を継続